

|         |
|---------|
| 受 験 番 号 |
|         |

# 国 語

(100 点 60 分)

(2026 年度 公募制推薦入試Ⅲ期)

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。  
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、14 ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏 名 欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科 目 名 欄 「国語」と記入してください。
  - ③ 受験番号欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 6 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。  
例えば 

|    |
|----|
| 20 |
|----|

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の（例）のように **20 の解答マーク欄の③にマーク**してください。

(例)

|    | 解 答 マ ー ク 欄 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | ①           | ② | ● | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | - | ⊕ |

解答マーク欄に複数のマークをすると、不正解になります。訂正するときは  
消しゴムできれいに消して、書き直してください

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

(解答番号)

1

3

31

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問10）に答えなさい。

これからの「まちづくり」の主体は、自覚と責任ある市民でなければならない。残念ながら、日本の自治の歴史、都市の歴史では、「市民」が生まれる土壌は少なかった。それでは「まちづくり」はできないのか。そんなことはない。各地の「まちづくり」の<sup>1</sup>実践例で見たとおり、少数ではあるが立派な「市民」がいるし、実践をしている。「まちづくり」の実践を通じて、「住民」は「市民」に成長しつつあるし、自治体も変わってきた。

「まちづくり」という言葉は、市民にとって身近で、自分たちも実践できるということだ。都市計画や都市政策は、自治体のような立場を与えられていないと実践できない。これにたいして「まちづくり」という言葉の気安さは、すぐに実践に繋がりそうな気持ちになれるだろう。少なくとも他人ごとではなさそうだ。

「まちづくり」の実践とは、ヒトが自分以外の外部のヒトやモノなどにたいして働き掛けて行うものである。自分自身の頭のなかだけに閉じ籠もっているのは実践にはならない。

「まち」は多くの人々の住む場だから、多数の協働は必須なのだが、「まちづくり」は大勢集まらないと始まらないものではない。まず一人でも始めることも必要だ。阪神・淡路大震災のときのボランティアは、一人一人の自発的な実践行動が行われ、結果的に大きなうねりになった。

どんな「まちづくり」でも、最初の一人が実践行動をしなければ始まらない。南フランスのプロヴァンスで、ブツフィエという男が、荒れ地に一人で黙々と木を植え続け、ついに広大な森にしまった<sup>2</sup>「木を植えた男」という有名な話がある。かつての豊かな森を人間が壊した。そこで奥さんと子どもをなくしたブツフィエは、五十歳過ぎて荒れ地に木を植えることを決心する。一人黙々として木を植える。二つの大戦を超えて続けられた結果、まるで自然の森のようになる。水の流れも復活し一時は廃墟<sup>はいきょ</sup>だった村も蘇<sup>よみがえ</sup>り、人の笑いさざめく活気ある土地になる。ブツフィエは一九四七年にバノン村で安らかに息をひきとった。八十七歳だった。

これは一九五三年、『リーダーズ・ダイジェスト』誌の「あなたがこれまで会ったことのある、最も忘れたい人物は誰ですか」というテーマに、フランスの有名な作家ジャン・ジオノが応えたものである。ところが、調査の結果バノン村の<sup>a</sup>シセツでブツフィエという人物が亡くなった事実はない。フィクションだと分かって原稿の受け取りを拒否された。そこでジオノはこの物語の著作権を放棄して万人に開放し、少なくとも十二カ国以上で翻訳出版され、多くの人々に感動を与え続けてきた。二つの戦争は多くの人命を奪い土地を破壊した。だが、たった一人でも長い歳月をかければ森が生き生命が蘇る。ブツフィエは実在の人物のように扱われるようになり、その足跡を訪ねる旅もある。物語は<sup>3</sup>「事実」ではないにしても、「真実」を語っているからであろう。（1）

イギリスには二千万人の<sup>4</sup>庭師がいるという。人口六千万人の三分の一だ。ちょっとした住宅地の通りに面して前庭があつて、各自の思いで花

を植えたり、花の咲く樹木を育て、自分も楽しみながら通りを行く人も楽しませ、街を美しくしている。家のペンキもよく塗り替えているし、蔓薔薇などを絡ませているのも楽しい。一人の趣味でコツコツやっているが、それが立派に「まちづくり」になっている。

ドイツでは、おばあさんが一生懸命に窓ガラスを拭いている。窓を清潔にして、窓辺に花を飾るのも「まちづくり」だ。窓辺の花は家のなかからでは逆光でよく見えない。自分のためというよりも、「まち」を美しくするためにに行っている。

北欧のような寒い所でも、出窓に植木を飾る。クリスマス頃などは、窓辺に近い所にクリスマスツリーを置いて、道行く人を楽しませている。スペインのコルドバには真つ白な壁のユダヤ人街があり、鉄格子の門扉を通してパティオ（中庭）が覗ける。ここに、緑や花の植木鉢を壁にかけたり、噴水があるのは嬉しい。暑くて乾いた気候だから、ちよつとした水や緑が人々をホツとさせる。（2）

東京郊外の住宅都市・町田の都市建築賞の**b**イーンをしていたとき、**5**私は坂の途中に建った住宅を推薦した。前庭にゆつたりとした広い芝生が広がり、ちよつとした樹木や花や置物がある。家と道路との境はちよつと腰掛けの高さのごく低い囲いで、上面は幅広い平らな石張りですりやすい。かなりの急な坂道の途中なので、上がってくる買物帰りの主婦や老人に一休みしてもらうためである。建物との距離も充分に離れているから、遠慮なく休んでいられる。**6**「服していると芝生の広がりも花も置物も心を和ませるだろう。（3）

自分だけがよければよいという最近のフウ。**7**チョウからすると、こういう人にたいする優しさや思いやりこそ評価すべきだ。だが、ほかの審査員は、家のデザインが平凡だとして落選させてしまった。これからの都市住宅は人を驚かす奇抜なデザインよりも、「まちづくり」の実践の点を評価すべきだと**7**思うのだが。始めは一人でも、こんな気持ちの人々が増えてくれば、どんなに住みよいまちが形成されていくことだろう。

一戸の家、一戸の垣根からでも実践は始まるが、一軒ではまだ「まち」とはいえない。「まちづくり」は多数の人の協働作業で行われる。どの家も前庭を美しくすれば、通り全体が共同の庭のようになる。たくさんの方がバルコニーの花を連続して飾っていると通り全体が美しくなる。（4）

日本の街でも、かつては住民が家の前の道路を**d**ソウジし、公の力に頼らずに清潔を保っていた。幕末に来日したヨーロッパ人は、日本の街には塵一つ落ちていないと驚嘆している。他人を感動させるほど、住民が協働して「まちづくり」を行っていたわけだ。（5）

ほんの数軒が協働するだけでも、他の街とは違ってくる。ニュージブランドのクライストチャーチの美しい庭コンクールでは、個人の庭のほかにも、共同作品であるストリートごとでも競いあう。これも協働の「まちづくり」だ。それが何十軒、何百軒になれば、完全に「まちづくり」だ。ギリシアのミコノス島の真つ白な家々の数が多いが、各個人がそれぞれ一生懸命石灰を塗っていつも真つ白に保っている。その集積が青いエーゲ海に**ハ**える白い家並みの島をつくった。個々の家の個性を抑えることで町全体の個性をつくっている。

（田村明『まちづくりの実践』による）

問1 傍線部 a～e のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕

1

～

5

a

シセツ

1

- ① 首相のシ政方針演説を聞く。
- ② 社会に奉シする。
- ③ シ紋を取る。
- ④ シ財を投じる。
- ⑤ 選手のシ気を高める。

b

イイン

2

- ① イ然として安否不明だ。
- ② 国家のイ信を保つ。
- ③ 被災地をイ問する。
- ④ 事故の経イを調べる。
- ⑤ 業務を民間にイ託する。

c

フウチヨウ

3

- ① 遺族の前でチヨウ意を表わす。
- ② チヨウ発に乗る。
- ③ 傾チヨウに値する意見だ。
- ④ 頬を紅チヨウさせる。
- ⑤ 話を誇チヨウする。

d

ソウジ

4

- ① 事故にソウ遇する。
- ② 悪弊を一ソウする。
- ③ 時期尚ソウだ。
- ④ 為政者が世論をソウ作する。
- ⑤ 新部署をソウ設する。

e  
ハえる

5

- ① エイ画を見に行く。
- ② 要人を護エイする。
- ③ 大会を運エイする。
- ④ アメリカにエイ住する。
- ⑤ 全国制覇のエイ冠を手にする。

問2 傍線部1「実践」の対義語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。【解答番号】 6 【

- ① 想像
- ② 理論
- ③ 虚偽
- ④ 抽象
- ⑤ 形式

問3 傍線部2「『木を植えた男』という有名な話」はどのようなこと为例としてあげられていますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。【解答番号】 7 【

- ① 「まちづくり」の実践を始めることによって、その主体が「住民」から「市民」へと成長していくということ
- ② 自治体などによる都市計画や都市政策が、住民による本当の「まちづくり」とは無縁なものであるということ
- ③ 「まちづくり」を大きなうねりにしていくためには、多数の住民による自発的な協働が必須なのだということ
- ④ 頭で考えている「まちづくり」は、自分以外の外部のヒトやモノへの働き掛けによって実現できるということ
- ⑤ どのような「まちづくり」でも、それが始まるきっかけとなるのは、一人の人間の実践行動であるということ

問4 傍線部3『事実』ではないにしても『真実』を語っている」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。【解答番号】8

- ① 現実には存在するはずのない出来事ではあるが、そこには人間の目指すべき生き方が描かれているということ
- ② 実際の出来事と大きく食い違っているが、そこには一人の人間のかげがえのない希望がかいま見えるということ
- ③ 現実から遊離した絵空事にすぎないとしても、そこから人間の背負うべき人生の苦難が読み取れるということ
- ④ 実際の出来事の記録ではないけれど、そこには人間に感銘を与える意味深い人生の姿が示されているということ
- ⑤ 現実の忠実な記録とまでは言い難いけれど、その出来事の主人公の実際の生き方は人間の本質を提示しているということ

問5 傍線部4「庭師」と漢字の構成（音読みと訓読みの組み合わせ）が同じものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。【解答番号】9

- ① 相性      ② 砂場      ③ 土手      ④ 為替      ⑤ 速度

問6 傍線部5「私は坂の途中に建った住宅を推薦した」とありますが、筆者が「推薦」した理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。【解答番号】10

- ① 奇抜なデザインではなく、人々をホッとさせるような前庭にある樹木や置物も好ましく、多数の人の協働で造られた住宅であるように思われたから。
- ② デザインが平凡でも、前庭や囲いの造りに道行く人たちの心を和ませる風情や気遣いを感じさせ、住みよいまちづくりに貢献していると思ったから。
- ③ 人を驚かすような奇抜なデザインではなく、自分以外の審査員は落選させるであろうと予想されたので、せめて自分だけは推薦しようと思ったから。
- ④ 最近自分だけがよければよいというような人が多いのに、自分の好みを抑えてでも道行く人を楽しませたいという居住者の心遣いを感じたから。
- ⑤ 付近の通り全体を共同の庭にするために、公の力に頼ることなく前庭や囲いを整えた住宅が、筆者の「まちづくり」の理想にかなっていったから。

問7 傍線部6「二服」の「服」と同じ意味でこの漢字を使っている熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 11〕

- ① 服飾      ② 服従      ③ 着服      ④ 敬服      ⑤ 服用

問8 傍線部7「思うのだが」の後に省略されていると考えられる表現として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号 12〕

- ① 多くの人は、自分さえよければそれでよいと考えているようだ。  
② 「まちづくり」の実践など、理想論にすぎないということだろう。  
③ 私と同じような「まちづくり」を目指す人は、そう多くはいないようだ。  
④ 平凡なデザインの家は、住みよい街にふさわしくないのかもしれない。  
⑤ 私のような評価基準を持つ人間は、審査員としてふさわしいのだろうか。

問9 本文から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 13〕

「まちづくり」は市民の共同作品づくりになるだろう。

- ① ( 1 )      ② ( 2 )      ③ ( 3 )      ④ ( 4 )      ⑤ ( 5 )

問  
10

本文の内容に合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)

〔解答番号

14

・

15

〕

- ① 日本では歴史的に「市民」が生まれる土壌が希薄であったので、最近まで「まちづくり」の実践は存在しなかった。
- ② 大勢の人間が集まって「まちづくり」を始めるにあたっては、自治体による都市計画や都市政策が不可欠である。
- ③ 「木を植えた男」という話に登場するブツフィエという男は、記録にも残されないような無名の人物であった。
- ④ ドイツでは逆光であっても窓辺の花がよく見えるように、住民たちがいつも一生懸命に窓ガラスを拭いている。
- ⑤ 「まちづくり」の実践は、一戸の家や垣根から始まり、それが多数の人に広がることで協働作業となっていく。
- ⑥ 個々の家が奇抜さを競うのではなく、全体的な景観を重視して個性を抑えることでも、町全体の個性が育っていく。

## 第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問10）に答えなさい。

私は社会人になって二十年弱、一人暮らしをしたあと、<sup>i</sup>実家の二階に戻った。

その二十年のうち二年間は香港での暮らしであり、一人で気ままに生きてきた人間がいまさら親と暮らせるだろうか、という不安は大いにあった。しかし当時はそんな<sup>1</sup>悠長なことを言っていられないほど切羽詰まった状況だったので、とにかく実家に避難したのだった。

（イ）各種の小さな問題は多々あり、長い時間をかけて（注<sup>1</sup>）アジャストしてきたのだが、想像していたよりはさほど苦勞もせず、そんな生活に慣れた。

ある時、こう思ったのだ。

親を外国人と思う、と。

これは一見、問題発言であろうから、響きがキツければ、こう言い換えよう。

親もまた、異文化である。

私の両親は、彼ら自身がまだかつて経験したことのない「老い」という新しい世界に日々向き合っている。

それはまさにチャレンジングな経験だ。昨日まで何の苦もなくできたことが、体の不調によって、ある日突然できなくなる。体調によって、物忘れが加速したり減速したりする。体調は天候に直撃される。こちらから見ると「どうでもいいこと」に妙に固執したり、忙しいこちらの事情を<sup>a</sup>顧みずに「どうでもいいこと」を要求したりする。そんな変化に一番動揺しているのは本人だ。昔と比べて喜怒哀楽は激しくなり、子どもっぽい言動をすることもある。

それは両親に限らず、老いを迎えた人誰もが直面する<sup>2</sup>通過儀礼であろう。

自分より常に大人だったはずの人の変化は、若い世代にとっては苛立<sup>いらだ</sup>つものだ。昔はそうではなかった、を基準値にすれば、双方にとって受け入れがたいことが多くなる。彼らだってそう望んで変化しているわけではない。「こっちに戻って来てください」と望んでも、それは無理な相談なのだ。（ロ）、こちらから向こうへ行くしかない。

（ハ）私は「親の住む老いという国に、留学している自分」という設定を思いついた。

だから、親が外国人なのではなく、私が外国人という立場なのである。この点は小さいことだがけっこう重要で、<sup>3</sup>逆はいけない。あくまでも彼らが多数派にならないといけない。

「老いの国」という未知の異文化は、自分がいつか確実に行くであろう場所なので、そこで話される言語や文化を予習しておくことは絶対に無駄にはならない。

日本とまさに「さかさま」だった香港で二年間暮らせたのだから、ここでだって適応できるはずだ。

不思議なもので、自分を留学生だと思ったら、「老いの国」は、びっくりはするけれど、理解できない場所ではない、と思えてきたのである。中国語ではコンピューターを「電腦」、脳みそを「脳筋」という。昔そう習い、中国語の言語感覚で天才だなどと感心したものだ。当時はただその語感に惹かれただけで深いことは考えなかったが、老いを理解するには、「電腦」「脳筋」をイメージすることが助けになる。

(ニ) お年寄りには、<sup>ii</sup>適切な語彙がヒツヒツと出て来ないことがまある。人名も地名も、「ほら、あれだよ、あれ」というやつである。私も人のことは言えないのだが。

そこで「電腦」を思い浮かべてみる。ハードディスクが満杯に近づいたコンピューターがフリーズする。せっかく速い回線を導入したのに、CPUの処理能力がそれに追いつかず、砂時計マークが出て、しまいに強制終了。

コンピューターなら新規機種に買い替えたり、メモリを増設したりすればよいが、脳は買い替えも増設もできない。ではどうするかといえば、この古びた機種を使い続けるために、不要不急のファイルをせつせと削除し、高速回線を<sup>iii</sup>諦めるしかない。

(ホ) 彼らは、昔のファイルを削除せずに最近のものから削除していくので、物忘れという事象が起きる。<sup>iii</sup>低速回線でゆっくり動く古いコンピューターに歩調を合わせ、<sup>4</sup>文脈からなんとか正解を類推して意思疎通を図るのがこちらの仕事になる。

古びたCPUは、よく検索間違いをする。最近の父の言動から例を挙げる。

「この事件の裏には、影武者がいるな」

(注<sup>2</sup>) 黒澤明の『影武者』を思い出し、なんだか現代から戦国時代へタイムスリップしたような素敵な気分になったが、正しくは「黒幕」である。すべての事件の裏に影武者がいたら、楽しいぞ！

「三角の、買ってきたぞ」

せっかく「さん」まで出たのだから、「ドイツ」と続ければ正しい意味になるのに、その形状があまりに印象的らしく、父はサンドイッチを「三角の」と呼び続ける。まあ、意味は通じるので、よしとしよう。

「今日の夕飯は、シューマイの親分だ」

春巻が焼売の親分だったとは、初耳である。

「今日の先発は(注<sup>3</sup>) キッシンジャーだから、楽勝だ」

多才なキッシンジャー元国務長官が野球にまで進出したのかと一瞬思ったが、何のことはない、阪神タイガースのメッセンジャー投手だ。

「せんべい、風化するから早く食え」

惜しい。せんべいが風化したら乾燥が進んでよりいっそうおいしくなりそうだが、正しくは「湿ける<sup>し</sup>」。方向性が逆である。

「心臓、とつてくれ」

ここまできると、片仮名の名称を使うことをもはや放棄している。正しくは「リモコン」。

こうした検索間違いを茶化して笑うことは簡単だが、iv 私が笑う気になれないのは（と言いながら、実際は笑っている）、複数の外国語を学習した経験があるからだ。

新規言語習得の初期には、語彙が極めて限られ、しかもその選択を間違えては恥ずかしい思いをする。この恥ずかしさを克服できない限り、言語は絶対に習得できない。プライドの高い人は、語学に向かない。

私は目下、スペイン語を学習中で、検索間違いはお手のものだ。「船がドアに到着した」とか「私はあさって、学校から家に行った」「去年、スペインへ行くつもりだ」「寒いので、シャワーを浴びたい」などなど、しょっちゅう連発している。よく先生が腹を抱えて笑わないものだ。その懐の深さには感動する。

私は日本語を、両親から習った。彼らは私の検索間違いを驚くべき根気の良さでそのつど訂正し、私に日本語を覚えさせたはずである。おそらく当時の私は、いまスペイン語で連発しているような奇妙な文章を口にしては、親はそれを「かわいい」と思って訂正してくれたのだろう。子どもが言い間違いをすると「かわいい」のに、お年寄りがそれをする「失笑」では、割にあわない。

5 その根気を、私が持つべき番になったというだけのことだ。

v 影武者や三角や春巻やキッシンジャーや風化や心臓も、かわいいぞ。

6 そのくせ、上戸彩や安めぐみ、堀北真希、小池栄子、田中泉（NHKのアナウンサー）といった名前はけっして忘れないのだから、驚愕するばかりである。

（星野博美『今日はヒョウ柄を着る日』による）

（注1）アジャスト＝調整すること。適応すること。

（注2）黒澤明＝一九二〇～一九九八年。映画監督・脚本家・映画プロデューサー。

（注3）キッシンジャー＝一九二三～二〇二三年。アメリカの国際政治学者・政治家。

問1 二重傍線部 a「顧」、b「諦」、c「懐」の漢字の読みの最初の平仮名として最も適当なものを、次の①～⑩のうちからそれぞれ一つずつ選  
びなさい。〔解答番号 a＝16、b＝17、c＝18〕

- ① た      ② こ      ③ ふ      ④ な      ⑤ も      ⑥ か      ⑦ あ      ⑧ お      ⑨ は      ⑩ よ

問2 空欄（イ）～（ホ）を補う語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つずつ選びなさい。（同じ番号を二度以上選んではいけません。）〔解答番号 イ〕 19、ロ 20、ハ 21、ニ 22 ホ 23 〔

- ① たとえば                      ② そこで                      ③ すなわち                      ④ ところが                      ⑤ もちろん                      ⑥ だったら

問3 傍線部1「悠長な」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 24 〕

- ① 場当たりので、いい加減な  
② のんびりしていて、慌てない  
③ 自分勝手に、都合のいい  
④ 間が抜けていて、こっけいな  
⑤ 取り越し苦労で、無意味な

問4 傍線部2「通過儀礼」の具体例として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 25 〕

- ① 入社式                      ② 七五三                      ③ 親睦会                      ④ 卒業式                      ⑤ 葬式

問5 傍線部3「逆はいけない」と筆者が考える理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 26 〕

- ① 老親を外国人という設定にすると、彼らの奇妙な言動は許容しがたいものと感じられ、同居が続かなくなると思われるから。  
② 老親を外国人という設定にすると、彼らの老いという未知の世界に自分も引きずりこまれてしまうように思われるから。  
③ 老親を外国人という設定にすると、自分は日本人ということになって、彼らとの同質性が失われてしまうと思われるから。  
④ 老親を外国人という設定にすると、彼らは少数派ということになって、彼らの立場がよりいっそう弱くなると思われるから。  
⑤ 老親を外国人という設定にすると、彼らの喜怒哀楽が激しくなり、子どもっぽい言動をすることが頻繁になると思われるから。

問 6 傍線部 4 「文脈」のここでの意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 27〕

- ① 「老いの国」の未知の言語や文化
- ② 老親の言動の前後やそのときの状況
- ③ コンピューターのメモリやCPU
- ④ 筆者の、香港での二年間の留学経験
- ⑤ 老親が自分に訴えようとしている事柄

問 7 傍線部 5 「その根気」の「その」が指示する内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 28〕

- ① 老親が言い間違いをすると、思わず「失笑」してしまうこと
- ② 老親の間違った言動の、真に意味するところを類推すること
- ③ 言い間違いをしても気に留めず、スペイン語の学習を続けること
- ④ 老親が言い間違いをしても「失笑」せず、じっと耐えること
- ⑤ 子どもの言い間違いを「かわいい」と思いながら訂正し続けること

問 8 傍線部 6 「そのくせ」は前のどの語句を受けていますか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 29〕

- ① 「老いの国」
- ② 検索間違い
- ③ 根気の良さ
- ④ 「かわいい」
- ⑤ 「失笑」

問9 波線部 i ～ v の表現について述べたものとして **適当でないもの** を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 30 〕

① i 「実家の二階に戻った」という表現は、「実家に戻った」と比較した場合、「二階」という言葉が具体的であるために、「実家」という言葉にもリアリティが生じている。

② ii 「適切な語彙がピッピッと出て来ない」という表現は、「ピッピッ」という擬音語が機械をイメージさせ、老親の頭脳をコンピューターにたとえていることにうまく対応している。

③ iii 「低速回線でゆっくり動く古いコンピューターに歩調を合わせ」という表現は、思考が鈍く、物忘れもひどい老親をせかさず、彼らの緩慢な言動に自分を合わせることをたとえている。

④ iv 「私が笑う気になれないのは（と言いながら、実際は笑っている）」という表現は、筆者が老親の言い間違いに思わず苦笑してしまう自分を揶揄あるいは叱責する意図を示している。

⑤ v 「影武者や三角や春巻やキッシンジャーや風化や心臓も、かわいいぞ」という表現は、老親の言い間違いを一つ一つ慈しみながら、寛容な心で受け入れようとする気持ちを表している。

問10 本文の標題として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 31 〕

- ① 電脳                      ② 三角の                      ③ さかさま                      ④ かわいい                      ⑤ 老いの国